

【年間テーマ 抑制とスピーチロック対策】

平成30年8月31日提出

日付	平成30年8月25日（土）			
場所	セントラザホテル		記録者：	金子
出席者 (敬称略)	真山	吉田	稲田	重富
	松尾	青木	花田	金子
テーマ	抑制とスピーチロックの対策			
結論	スピーチロックに関する自施設での、現状報告。 ・職員がスピーチロックの意味を分かっていない。 ・「～してはダメです。」→言い換えの言葉を使っていない。知らない。 ・無視、無言もスピーチロック→患者様の意思を尊重していない。			
決定事項	・職員の意識を変える。各施設アンケートを行う。理解してもらう。 ・勉強会等でいろいろな施設の取り組みを報告する。 ・命令する言葉（あきらめを与える言葉）から、患者様に選択肢を与える言葉（安心感を与える言葉）に変える。 ・持続する事が大事なので、言い換えの言葉をラミネートにして施設に貼る。			
備考	私たち認知症②グループは、職員の意識付けに重点を置き、 スピーチロックが、浸透するような対策を考えたり、 スタッフに向けた、指導の資料を作成していく。 という事にしました。			
次回討論項目	スピーチロックが、施設内で浸透する対策を考えてくる。 言葉の言い換えの例文等を考えて来る。			

抑制廃止とケアの質を高める会 事務局

E-メールアドレス info@famcf.jp

(Fax. 092-691-3961)